

第1学年 国語科学習指導案

日 時 平成21年9月10日(木) 5校時
児 童 男6名 女6名 計12名
指導者 坂本 美矢子

1 単元名 くらべてよもう(光村図書 1年上)
教材名 「じどう車くらべ」(説明的な文章)

2 単元について

(1) 教材について

本単元は、以下の新学習指導要領の領域の目標と内容を具現化する学習内容である。

1 目標

- (2) 経験したことや想像したことなどについて、順序を整理し、簡単な構成を考えて文や文章を書く能力を身に付けさせるとともに、進んで書こうとする態度を育てる。
- (3) 書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。

2 内容

B 書くこと

- (1) ア 経験したことや想像したことなどから書くことを決め、書こうとする題材に必要な事柄を集めること。

ウ 語と語や文と文との続き方に注意しながら、つながりのある文や文章を書くこと。

エ 文章を読み返す習慣をつけるとともに、間違いなどに気付き、正すこと。

オ 書いたものを読み合い、よいところを見つけて感想を伝え合うこと。

C 読むこと

- (1) ア 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。

イ 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。

エ 文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと。

- (2) ウ 事物の仕組みなどについて説明した本や文章を読むこと。

[伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項]

- (1) ウ(ア) 平仮名及び片仮名を読み、書くこと。また、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。

本単元の目標は、「自動車の仕事と作りの関係に興味をもって読み、ほかの自動車を説明する文章を書く。」ことである。

本教材「じどう車くらべ」は、子どもたちの身近にある「自動車」を取り上げた教材である。それぞれの自動車が、どんな仕事をし、そのためにどんな作りになっているかという二点に絞って分かりやすく説明している。文章は、五段落で構成されており、第一段落で読み進める視点を示し、第二段落から第四段落では三種類の自動車の説明、そして最後の五段落では、見慣れている自動車の仕事と作りについての問いかけがなされ、読みとりからさらに簡単な説明的な文章の作文へと学習が広がるように工夫

されている。ここで取り上げられている自動車は、普段子どもたちがよく目にしているものではあるが、それぞれの仕事を行うためにどんな作りになっているかについては、あまり意識してこなかったのではないと思われる。この教材は、そんな子どもたちに身近な自動車に目を向けさせ、もっと知りたい、好きな自動車について書いてみたいと感じさせることができるものと思われる。

(2) 児童について

児童は、これまでに文と絵を結びつけながら内容を読みとる学習を進めてきた。説明的な文章としては、「いろいろなくちばし」で、説明されている事柄を正確に読みとることを学ぶとともに知らなかったことを知る楽しさを味わうことができた。また説明的な文章の基本的なパターンである「問い→答え」と、その文型を学んだ。児童の多くは、叙述を基にして読むことに慣れてきたが、まだ不十分な児童もいる。

読みとるための書く活動については、サイドラインや部分視写などを用い、読む経験をしてきた（「いろいろなくちばし」「おむすびころりん」）。どこに何が書かれているのかが分かり、部分視写もサイドラインをした部分を読みながら書くことができた。しかし、文が長くなると、内容を読んでいく時間のかかり方に差が見られる。

この単元では、さらにサイドラインや部分視写する経験を積み重ねることによって、説明されている文をより正しく読める力を身につけさせていきたい。また教材文の構成を理解し、同じ形式で文を書くことで説明的な文章に慣れさせていきたいと考える。

(3) 指導にあたって

本教材は「話題・問題提示→問題に対する説明」を通して、「しごと」と「つくり」という二つの事柄の関係を考えながら内容の大体を読む力を育てることがねらいである。

つかむの段階では、前書きの問いかけの文章によって、問題意識を持たせ、興味を持って読み進めることができるようにしていきたい。また、挿絵も使いながら知っている自動車について出し合った後、自動車図鑑を作る計画を立て、興味・関心を持続させていきたい。

ふかめるの段階では、説明している二つのこと（「しごと」と「つくり」）を、文末や接続詞「そのために」から押さえさせる。「～しごとをしています。」「そのために」という言葉に注目させながら、仕事と作りを関係づけて読み進められるようにさせたい。

まとめる・ひろげるの段階では、学習した段落構成を生かし、自分の選んだ自動車について簡単な説明的な文章を書く活動を設定している。ふかめる段階でその文の構成が理解できていることが大前提であるが、できるだけ、子どもたちが理解しやすい資料や参考図書を用意し、教材文を振り返りながら、書かせていきたい。

読みとるための書く活動としては、それぞれの自動車の「しごと」と「つくり」にサイドラインを引いたり、大事な文を部分視写したり、カードに書いたりする活動を取り入れていきたい。書くスピードの差が大きいので、指導者と一緒に書く部分も取り入れるなどの工夫をし、読んでわかったことを確実に書いて確かめるという学習の仕方を身に付けさせていきたい。学習スキルとして、サイドラインや部分視写について、線の引き方や言葉の抜き書きの仕方を丁寧に振り返り指導していく必要がある。

3 単元目標

【関心・意欲・態度】

- ・ 自動車の仕事と作りの関係に興味を持って読み、ほかの自動車を説明する文章を書こうとする。

【書くこと】

- ・ 教材文を参考にして、簡単な組み立てを考えて好きな自動車の仕事と作りを説明する文を書くことができる。(書(1)アウエオ)

【読むこと】

- ・ 三種類の自動車について、仕事と作りの関係を考えながら内容の大体を読むことができる。(読(1)イ)
- ・ 語や文としてのまとまりを考えながら、声に出して読むことができる。(読(1)ア)
- ・ 乗り物の本などに興味を持ち、探して読むことができる。(読(2)ウ)

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

- ・ 片仮名で書く語を読んだり書いたりすることができる。(伝ウ(7))

4 単元指導計画 (9時間) 書 読みとるための書く活動

段階	時間	学 習 活 動 (○) と 支 援 の 工 夫 (・)	評 価
第一 次 つ か む	1	<p style="text-align: center;">全文を読み、学習のめあてをもつ</p> <p>○ 本文の範読を聞き、初めて知ったことを発表したり、知っている自動車の名前を挙げたりし、どんな自動車があるか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 分ち書きで切らずに、言葉のまとまりごとに読む。(範読) ・ 児童から出た自動車を板書し、片仮名が多いことに気付かせる。 <p>○ 学習のめあてを確認する。 「じどう車ずかんをつくろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図鑑を見せ、イメージを持たせる。 <p>○ 新出漢字、片仮名の学習をする。</p>	<p>(関) いろいろなじどう車に興味を持ち、「じどう車ずかん」を作ろうとしている。</p> <p style="text-align: right;">〈発言・観察〉</p>
第二 次 ふ か め る	1	<p style="text-align: center;">じどう車の「しごと」と「つくり」をくらべながら読みとる</p> <p>○ バスや乗用車の「しごと」と「つくり」を読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「問い」を確かめた上で、この部分が「答え」になっていること、「しごと」と「つくり」の二つのまとまりで構成されていることに気付かせる。 ・ 「しごと」と「つくり」をつなぐ言葉「そのために」を意識させる。 <p>書 サイドライン・部分視写 (カード)</p>	<p>(読) バスや乗用車の仕事と、そのために作りが工夫されていることを読んでいる。</p> <p style="text-align: right;">〈発言・カード〉</p>

ふかめる	1	○ トラックの「しごと」と「つくり」を読む。 書 サイドライン・部分視写 (カード)	(読) トラックの仕事と、そのために作りが工夫されていることを読んでいる。 〈発言・カード〉
	1 (本時)	○ クレーン車の「しごと」と「つくり」を読む。 ・ 片仮名で書く際には、視写の前に指導者が板書して筆順を示す。 書 サイドライン・部分視写 (カード)	(読) クレーン車の仕事と、そのために作りが工夫されていることを読んでいる。 〈発言・カード〉
第三次 まとめ ・ひろげ	1	3つのじどう車の「しごと」と「つくり」をまとめ、簡単な説明的な文章を書いてみる ○ はしご車の「しごと」を考え、そのためにどんな「つくり」になっているか考え、簡単な説明的な文章を書く。	(書) はしご車の仕事と作りについて説明する文を書くことができている。〈カード〉
	1	じどう車ずかんをつくる ○ 自分が調べたい自動車を決め、「しごと」と「つくり」について調べる。 ・ 自動車について書いてある本を何冊か紹介したり、図書室で本を探させたりする。	(関) じどう車の本を進んで読もうとしている。〈観察〉 (書) 自分が調べたい自動車の本を探して仕事と作りについて調べ、簡単な組み立てを考えて文にまとめている。
	1.5	○ 調べた自動車の「しごと」と「つくり」について、教材文を参考に簡単な組み立てを文にまとめる。	〈カード〉
	0.5	○ 書いた文を読み直し、清書する。	
	1	○ できあがった図鑑を交換して読み合い、感想を交流する。	(関) 友だちの図鑑を読み合い、感想を交流しようとしている。 〈発表〉

5 本時の指導

(1)ねらい

クレーン車の「しごと」と、そのためにどんな「つくり」になっているかを読みとることができる。

〈読みとるための書く活動〉

- 「しごと」と「つくり」を探して、**サイドライン**を引き、書かれているところを確かめる。
- サイドラインを引いたところから、大事な言葉を**部分視写**する。

(2)具体の評価規準

おおむね満足 (B)	努力を要する児童への支援
<ul style="list-style-type: none"> ・ クレーン車の「しごと」と「つくり」について、書かれているところを探し、サイドラインを引いている。 ・ カードに大事な言葉を部分視写し、内容を捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 挿絵を見ながらクレーン車の仕事や作りを確認させ、サイドラインを引かせる。 ・ カードに書かれている文をたしかめさせ、抜けている言葉を教科書から見つけ、丸囲みさせながら視写させる。

(3) 展 開

段階・時間	学習活動と予想される児童の反応	支援の工夫(・)と評価 (◎)
つ か む 5 分	<p>1 前時の学習を想起する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ トラックはどんな「しごと」をしていますか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ にもつをはこぶしごとをしています。 ○ そのためにどんな「つくり」をしていますか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ うんてんせきのほかは、ひろいにだいになっています。 ・ おもいにもつをのせるので、タイヤがたくさんついています。 <p>2 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>クレーン車はどんなしごとをし、どんなつくりになっているのでしょうか。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時の学習について、しっかりおさえて、本時に生かせるようにする。(教室掲示) ・ クレーン車の絵を提示する。
ふ か め る	<p>3 課題を追究する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 3つ目のじどう車「クレーン車」についてを 読んでいきましょう。「しごと」と「つくり」が どこに書かれているかを確認しながら音読しま しょう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人読み→指名読み ○ 「しごと」が書かれている文に線を引きましょう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;"> <p>書く活動 サイドラインを引く。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ おもいものをつりあげるしごとをしています。 ○ 大事な言葉を部分視写しましょう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;"> <p>書く活動 「しごと」の文の部分視写をする。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ おもいものをつりあげるしごと 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 読みの視点を与えて音読させる。 ・ 「～しごとをしています。」をキーワードに探すように促す。 ・ 確かめた文を赤でサイドラインさせる。 ・ 絵と文を照らし合わせ、「しごと」の様子をとらえさせる。 ・ 視写するときは、文節ごとに読んで書くようにさせる。 ・ 早く書き終わった児童は、視写したものを読み返すように指示する。 <p>◎ クレーン車の「しごと」について正しくサイドラインを引き、部分視写することができている。</p> <p style="text-align: right;">〈教科書・カード〉</p>

ふ か め る	○ 「つくり」が書かれているところに線を引きましょう。	・ 「そのために」をキーワードに探すように促す。
	書く活動 サイドラインを引く。	
30 分	<ul style="list-style-type: none"> ・ じょうぶなうでが、のびたりうごいたりするように、つくってあります。 ・ 車たいがかたむかないように、しっかりしたあしが、ついています。 <p>○ 大事な言葉を視写しましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 確かめた文を青でサイドラインさせる。 ・ 絵と文を照らし合わせ、パネルを使って「つくり」の様子をとらえさせる。
	書く活動 「つくり」の文の部分視写をする。	
		◎ クレーン車の「つくり」について正しくサイドラインを引き、部分視写することができる。 (教科書・カード)
ま と め る	<p>4 本時の学習をまとめる。</p> <p>○ クレーン車の「しごと」と「つくり」をまとめましょう。</p> <p>○ クレーン車になって、「しごと」と「つくり」を紹介しましょう。</p> <p>○ クレーン車の「しごと」と「つくり」を知って、どう思いましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ おもいものをつりあげるから、じょうぶなうでやしっかりしたあしがついているんだ。 ・ どっしりしたあしがついているひみつがわかってびっくり。 <p>○ 本時の学習をふりかえましょう。</p> <p>○ ずかんカードを読みましょう。</p> <p>○ クレーン車クイズをします。「しごと」と「つくり」は、なんだったでしょう。あてはまるものに○をしましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ おもいものをつりあげるしごと ・ 「つくり」は、絵に○をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 板書で確認する。 ・ 2～3名の児童にパネルシアターを使って説明させ、この文章を理解しているか確かめる。 ・ 知った驚きや考えを自分なりの言葉で言えるように促す。 ・ カードを使って、クレーン車の文の「しごと」と「つくり」を確認しながら、読ませる。 <p>◎ クレーン車の仕事と作りについて正しく捉え、読むことができる。 (カード)</p>
10 分	<p>5 次時の学習の予告</p>	

6 板書計画

<p>図鑑カード クレーン車の絵</p>	<p>まとめ</p>	<p>本文</p>	<p>かだい じどう車くらべ クレーン車はどんなしごとをし、どんなつくり になっているのでしょうか。</p>
<p>部分視写</p>		<p>クレーン車</p>	